

野蒜復興新聞

2015年が明け、野蒜地区ではソフ
ト面、およびハード面
の整備が進められてい
ます。工事では整備
のよい今年5月末に
迫ったJR開通に向け、
道路整備が進められ
ています。野蒜まち
づくり協議会は、自治
会の区割りや自治会制
度について協議を行っ
ています。復興部会では
住民の皆さんに復興
事業の情報共有され
るよう、説明会を企画
しています。

2015年動き出す

野蒜まちづくり協議会

新年を迎えた野蒜地区では新たな野蒜まちづくりの動きが生まれてい
ます。1月15日には野蒜まちづくり協議会・野蒜北部丘陵振興協議会・東松島市を交えた合同三役会が実施され、今後は自治会の区割りについて協議が等しい議論が行われ、2月6日には、区割りにあ
たり、平成29年度に正式に施行される自治会制度の見据えられた検討が必要であると
います。そのた

→1月14日、復興部会



いく予定です。次の復興部会では野蒜・宮戸の観光に着目し、議論をする予定です。



新東名から新設大茂倉～長石線を望む

整備工事

市道・大茂倉～長岡線は元々幅3m程度の砂利道でした。計画道路の幅が12mに拡大され、将来的には奥松島～松島公園線と市道・大茂倉～長岡線が結ばれる予定です。現状は、粗造成と大茂倉～長石線を横断するJR橋梁（JR発注工事）・2号橋梁が完了しております。引き続き、平成27年1月20日より、NTT、道路排水に着手します。平成27年5月末、JR開通に向け、抜粋

（車道7m）として生まれ変わります。将来的には奥松島～松島公園線と市道・大茂倉～長岡線が結ばれる予定です。現状は、粗造成と大茂倉～長石線を横断するJR橋梁（JR発注工事）・2号橋梁が完了しております。引き続き、平成27年1月20日より、NTT、道路排水に着手します。平成27年5月末、JR開通に向け、抜粋

野蒜市民センターや、仮設住宅掲示板には共同企業体「JV」が発行している情報誌「のびる」が掲載されています。図や写真等を用いて、住民の皆さまに整備工事の状況をお知らせしてまいります。ぜひご覧ください。

復興部会よりお知らせ

復興事業住民説明会開催

野蒜地区において現在行われております復興事業の内容及び進捗状況について、東松島市役所の担当課ほか関係機関による復興事業住民説明会を次により開催します。ご希望の方は、現地にお越しください。（事前申込み不要）

① 仙石線全線開通に伴うもの

② 元地の利用計画について

開催日時：平成27年2月6日(金)19時

場所：野蒜市民センター

お問い合わせ先

担当：野蒜まちづくり協議会 復興部会

電話：88-2056



野蒜まちづくり協議会 イメージキャラクター マックくん

明けましておめでとう！今年も野蒜復興新聞を宜しくね！

まちづくりルール・ガイドライン(案)

承認成る

←当日の様子



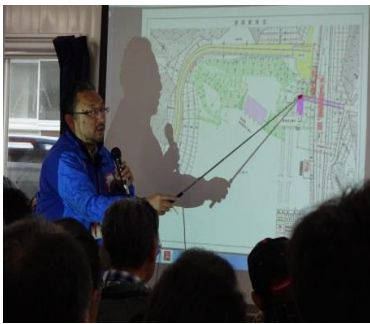
2014年12月20日に開催された野蒜北部丘陵振興協議会高台移転部会全体会において、まちづくりルール・ガイドライン(案)が承認されました。当日は、高台で住宅を再建する223世帯のうち出席者96世帯、委任状提出が87世帯ありました。今回の主な協議事項のまちづくりルール・ガイドライン(案)は、住宅を建築するためのルールであり、これまで高台移転部会で協議してきた経緯及びまちづくりルールの内

容説明がありました。その後の採決で出席者の9割以上の挙手により承認が得られ、協議会として野蒜北部丘陵団地へ移転するみんなで作るルールとして確定されました。また、高台に建設予定の公共施設等についても説明がありました。出陣した住民からはJR開業時の駅周辺駐車場のあり、これに對し市は、開業時には暫定的に駅前駐車等が可能な駅前広場を整備する予定だが、可能な限り送迎利用を基本としていただき、恒久的な駐車場については今後の利用状況やニーズ等によって対応を検討



↑高台東部エリアの模型

討するとしています。会場には高台東部エリアの模型も展示され、住民の皆さまの移転先イメージも具体化されてきました。今後、協議会は、野蒜まちづくり協議会と連携しながら地区割りや地区自治会制度への協議を進めていく予定です。少しづつではあります、到着前に前へと進んでおります。



↑計画状況の説明もありました

野蒜を知る旅

金山貝塚と亀岡遺跡

旧野蒜小学校体育館裏山の標柱が立っている。ご存知の方も多いでしょう。昭和11年に東北大の内藤政恒氏と伊東信雄氏との試掘調査などで多賀城創建期(奈良時代前半七、四、四年頃)の瓦が大量に出土しました。瓦の文様から、古代陸奥国府多賀城と密接な関係にある古代役所か寺院の跡と考えられています。本格的な調査が2003〜2005年に行われて

5世紀から6世紀前半の居が発見されています。遺跡の前は、当時海岸線に近く、瓦は丘陵裾部に集中して、それ以外の地域からは出ていない事などから、官舎や寺院ではないのではと考えられています。報告書で返される大津波がこの遺跡や

この遺跡は、海拔1.5m前後しかなく、3・11の大津波では、3m以上の津波が押し寄せ、多くの家や瓦礫、また自らも車で巻き込まれ、打ち寄せられた体験をしたので、多賀城創建から一四五年後に起きたであろう貞観津波(八六九年)や慶長16年の大津波(一六一一)、明治39年三陸津波等、千年から二百年周期で繰り返される大津

で、一番古い縄文貝塚は、金山貝塚と言われているが、旧野蒜小学校の裏山である金山中腹一帯にあったと言われているとす。台前亀岡線の道路開削工事などで一部は失われたと言われているが、小生の小学校時代(昭和27〜33年)には、山の裾で貝の化石や石器等を採ることがブルムになったのを記憶しています。野蒜北部丘陵高台団地は金山貝塚遺跡上部であり、亀岡(神岡)大仏山等の聖地にあります。縄文遺跡の様な安全安心の高台タワーとして野蒜一体で明るく楽しいコミュニティを作り上げ、他にない理想郷にしたいものと考えています。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

亀岡 佐々木勝久

→亀岡遺跡の標柱(旧野蒜体育館裏山の裾)



6kmの直線距離です。3・11の大津波でも安全

は、野蒜海岸

